

## Impact LX と Ableton Live

Impact LXシリーズのコントローラーはAbleton Liveのコントロールサーフェスとして機能します。機能させるにはLive用のリモートスクリプトファイルをダウンロードし、インストールする必要があります。

Ableton Live Remote Script

<[http://www.nektartech.com/Downloads/Impact\\_LX\\_LiveRemoteScript\\_v1.0.zip](http://www.nektartech.com/Downloads/Impact_LX_LiveRemoteScript_v1.0.zip)>

注意:Live 8.3以降に対応します。

### インストール方法

1. Ableton Liveを終了し、以下の場所に”Impact LX”フォルダーコピーします:

Windows環境

C:¥Users¥<ユーザー名>¥AppData¥Roaming¥Ableton¥Live¥Preferences¥User Remote Scripts

注意:この場所は通常、不可視になっていますので、次の設定で表示可能にします。  
Windowsの表示メニューのフォルダーオプションで、表示タブから、”ファイルおよびフォルダー”の項目から”ファイルとフォルダーの表示”を見つけ出します。  
”隠しファイル、隠しフォルダー、および隠しドライブを表示する”にチェックを入れます。

Mac OS X環境

~/ライブラリ/Preference/Ableton/Live /User Remote Scripts

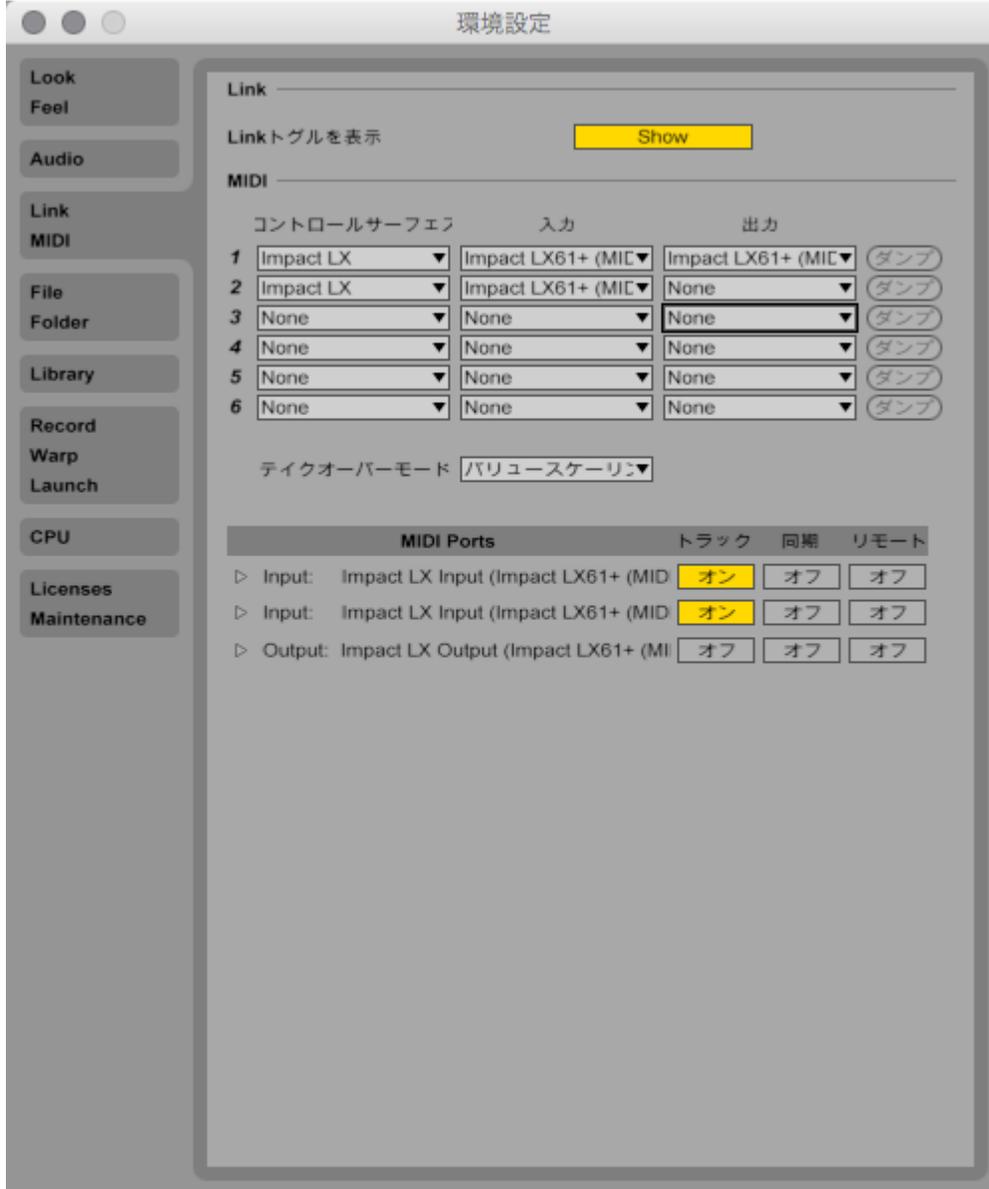
注意:OS X 10.7以降では、ユーザディレクトリのライブラリフォルダは不可視になります。次の操作でUser Remote Scriptsフォルダにアクセス可能します。

Finderを開き”移動”メニュー内でoptionキーを押しながら”ライブラリ”を選択します。

Preference > Ableton フォルダへと進みます。

このフォルダ内から、現在ご利用のLiveのバージョン > User Remote Scriptsフォルダを開き、そこに”Impact LX”フォルダーをコピーします。

2. ”Impact LX”フォルダーのコピーが完了したら、Liveの環境設定を開き、MIDIタブで、コントロールサーフェスの設定を以下の通りに行います:



コントロールサーフェスの項目で、2つのスロットでImpact LXを選択し、1つ目の入力を”IMPACT LX … (MIDI1)”、出力を”IMPACT LX … (MIDI1)”に設定し、もう1つの入力を”IMPACT LX … (MIDI 2)”、出力を”None”にします。

そして、画面に下の”MIDI Ports”の項目でも2つのImpact LXの入力の”トラック”を”オン”にして、画面を閉じます。

3. 最後に、次の手順でImpact LXのMIDIチャンネル設定を”16”にします。

Impact LXの”SETUP”ボタンを押します。

鍵盤の”C2”(Global Channelとラベル印字)を押します。

そして、鍵盤の”C3”( - とラベル印字)を押し、ディスプレイの表示が”0.1.6.”になるようにします。

“SETUP”アップボタンを押して、設定モードを終了します。

これで、LiveとImpactが正しく連動し、次の操作が行えます。

Presetモードでは、Impactのポット、フェーダー、パッド、ボタンが、以下のAbleton Liveパラメーターを操作出来ます：

#### トランスポートボタン

Cycle: アレンジメントビューのループマーカのオン・オフ

<<: 再生ポジションの巻戻し

>>: 再生ポジションの早送り

Stop: 再生停止

Play: 再生開始

Record: 録音開始

#### フェーダー

フェーダー 1-8: Liveセットの最初の8チャンネルのボリュームを操作

フェーダー 9: マスタートラックのボリュームを操作

#### フェーダー下のボタン

ボタン 1-8: Liveセットの最初の8チャンネルの録音アームを操作

#### ポット/ノブ

選択されたトラックのインストゥルメントパラメーターを操作

#### トラックボタン(Track > と < Track) 機能

選択されているインストゥルメントのコントロールバンクの切替

#### パッドマッピング

パッドマッピング1: LiveのDrum Rackの最初の8つのパッドを演奏(画面上の下8つ)

パッドマッピング2: LiveのDrum Rackの次の8つのパッドを演奏(画面上の上8つ)

お楽しみいただければ幸いです。